

税 理 士 講義録

科目

簿記論

コース

7月-9月
セミナー

回数

配布物

★ミニテスト：あり [] なし
★実力テスト：あり [] なし
◇配布物なし

★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説
★その他のレジュメ []

講師

青松

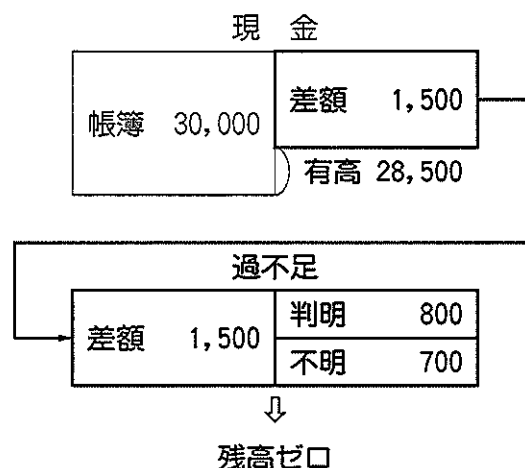
先生

テキスト
ページ

黒 板 内 容

● 現金預金

1 現金過不足



① 実査時
過不足 1,500 / 現金 1,500

② 判明時
旅・交 800 / 過不足 800

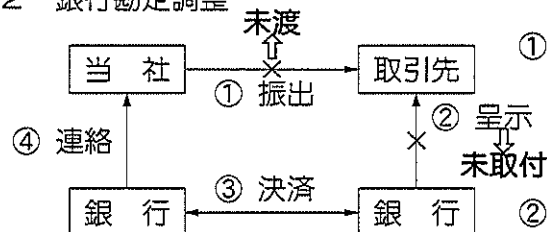
③ 決算時
雑 損 700 / 過不足 700

↓

実査時～決算時～

旅・交 800	現金 1,500
雑 損 700	

2 銀行勘定調整



① 取引先に渡していない ⇒ 未渡
当座預金 37,000 / 買掛金 24,000
未払金 13,000

② 取引先が呈示していない ⇒ 未取付
仕訳なし

cf 修正仕訳の考え方

- ① 適正な仕訳
通信費 1,000 / 当座預金 1,000
- ② 当社が行った仕訳
当座預金 1,000 / 通信費 1,000
- ③ 修正仕訳 (①-②)
通信費 1,000 / 当座預金 1,000 ⇐ ②の逆仕訳
通信費 1,000 / 当座預金 1,000 ⇐ ①の仕訳

税 理 士 講義録	科 目	簿記論	コ ー ス	7A2-P-7P セミナー	回 数	
-----------	-----	-----	-------	------------------	-----	--

配布物	★ミニテスト：あり [] なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説	講 師	
	★実力テスト：あり [] なし	★その他のレジュメ []		
	◇配布物なし			先生

テキスト
ページ

黒板内容

● 有形固定資産

1 買換（下取：1,100 適評：800）

累 計 額	1,800	車 両	3,000	⇒ 時価	800
減価償却費	300	当座預金	3,700 3,400	簿価	900
売却損	100			売却損	△100
車 両	4,500 4,200				

下取1,100－適正800＝値引300

2 解法（問題100）

決算整理前残高試算表				（単位：千円）	
建 物	174,000	建物減価償却累計額	60,750		
車 両	32,000	車両減価償却累計額	12,000		
備 品	5,000	備品減価償却累計額	各自推定 2,440		
保 険 未 決 算	各自推定	車 両 売 却 益	各自推定 1,975		
建物減価償却費	各自推定				
車両減価償却費	各自推定				

種 類		期首累計額	償却方法	残存価額	償却率	取 得 日	
建物A		7,740 各自推定	定 額 法	10%	0.05	× 1 年12月	(180)
建物B		60,750千円	定 額 法	10%	0.05	× 7 年4月	6,750
建物C		—	定 額 法	0%	0.05	× 17 年1月	300
車両D		5,400千円	定 額 法	10%	0.10	× 10 年4月	(75)
車両E		12,000千円	定 額 法	10%	0.10	× 12 年2月	2,880
備品F		2,440 各自推定	定 率 法	0%	0.20	× 13 年4月	512

税 理 士 講義録			科 目	簿記論	コ ー ス	7月2-7,70 セミナー	回 数	
-----------	--	--	-----	-----	-------	------------------	-----	--

配布物	★ミニテスト：あり []	なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説	講師	先生
	★実力テスト：あり []	なし	★その他のレジュメ []		
	◇配布物なし				

テキスト
ページ

黒板内容

● 割賦販売

1 原価率の算定

仕入

前々	末 500
6,200	
首 300	後々
	6,000

後々 6,000

一般販売	割賦販売
4,500	3,000
	3,600

7,500
~~8,100~~

売価ベースを統一する

原価率（一般）

$$\frac{6,000}{7,500} = 0.8 \Rightarrow \frac{1.2 - 0.8}{1.2} \Rightarrow \frac{0.4}{1.2}$$

利益率（割賦）

2 解法（問題5）

	期首残高	当期発生高	当期回収高	期首残高
0.35 前期販売分	1,800千円	—	1,700千円	100千円
0.375 当期販売分	—	8,400千円	6,000千円	2,400千円